

I 調査の概要

1. 調査の目的

福岡市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「福岡市高齢者保健福祉計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

2. 調査の概要

調査種別	調査対象者	調査票発送日	調査票回収
高齢社会に関する調査	高齢者一般調査 5,000人 市内在住の60歳以上の方から無作為に抽出	平成19年 10月1日	～平成19年 11月16日 郵送回収
	在宅サービス利用者調査 5,000人 市内在住の要介護認定者のうち、平成19年6月中に介護保険の在宅サービスを利用した方から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む	平成19年 10月16日	
	在宅サービス未利用者調査 3,000人 市内在住の要介護認定者のうち、平成19年6月中に介護保険の在宅サービスの利用がなかった方から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む		
	施設等サービス利用者調査 1,500人 介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)やグループホームに平成19年6月時点で入所中の方から無作為に抽出 ※第2号被保険者(40～64歳)含む		
介護支援専門員調査	865人 福岡市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員(悉皆調査)	平成19年 10月1日	

3. 回収結果

調査の種類	配布数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)	
高齢社会に関する調査	高齢者一般調査	5,000	3,235 (64.7%)	3,161 (63.2%)
	在宅サービス利用者調査	5,000	3,073 (61.5%)	2,983 (59.7%)
	在宅サービス未利用者調査	3,000	1,633 (54.4%)	1,543 (51.4%)
	施設等サービス利用者調査	1,500	1,122 (74.8%)	1,037 (69.1%)
介護支援専門員調査	865	473 (54.7%)	471 (54.5%)	

回収された調査票から白紙や記入不完全のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

4. 資料の見方

- ① 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100%にならない場合がある。
- ② 比率は各質問の「回答数」を基数（N）として算出（N=100%として算出）している。
- ③ 複数回答が可能な設問においても、比率算出の基数は「回答数」とし、該当する選択肢に○印をつけた方が全体から見て何%なのかという見方をした。したがって、各選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ④ 表・グラフの見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- ⑤ グラフ内の数値の単位はすべて%である。
- ⑥ 高齢者一般調査の中で、経年比較の参考「高齢者のみの世帯」とは、対象者本人が65歳以上かつ世帯構成で「一人暮らし世帯」、「夫婦二人暮らし世帯（夫婦ともに65歳以上）」、「あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯」となっている。